



市民活動でSDGs!



一般社団法人 SDGsてらす代表理事 久保田后子

SDGs (Sustainable Development Goalsの略) は、「遠い世界のこと」でしょうか。日本のSDGs達成度ランキング(*)を見ると、2022年度163か国中19位、この3年間は連続して後退しています。日本の達成度が低く、取組み強化が必要な目標は、「5. ジェンダー平等」「10. 不平等をなくす」「12. つくる責任つかう責任」「13. 気候変動対策」「14. 海の豊かさ」「15. 陸の豊かさ」、これらは、どれも日本社会の重要課題と重なっています。

SDGsは、国連加盟国が全会一致で採択した「持続可能な開発目標」であり、「人類の生存戦略」、あるいは、「2030年までのやるべきことのリスト」ですから、私たちの身近な課題においてもその解決や新たな価値創造をする上での視点となり、仲間づくりや企業などとパートナーシップを創りやすいのです。そのような考えから、「一般社団法人SDGsてらす」を2021年7月に設立して、現在、以下のプロジェクトを進めています。

① SDGs 14「海の豊かさを守ろう」環境学習DVD制作。海洋ゴミをテーマに、身近な宇部の海をはじめとして、ゴミ問題に挑戦する人々の活動を紹介します。

② SDGs 12「つくる責任つかう責任」から、「AMISONJI」ブランドを立ち上げ、サステナブルファッションのソーシャルビジネスに挑戦。昨年12月、中国地域女性ビジネスコンテストで大賞(中国経済産業局長賞)を受賞。ファブリック・バンクも創設し、新品ながら廃棄される布・糸を集め、新たな価値のある商品にアップサイクルして販売しています(写真1)。



写真1 AMISONJIファッション

③ SDGs 4「質の高い教育をみんなに」は、経済格差からの教育格差問題に焦点を当て、学習支援事業「英語・算数・国語の学習DVD/みんなのわくわくワーク」を制作して配布(写真2)。

④ SDGs 5「ジェンダー平等を実現しよう」では、「フェムシッパ・テラス」を開設して、女性の自立支援や性暴力被害に苦しむ女性の支援をしています。

⑤ SDGsの普及と英語のスキルアップのため、SDGs英語スピーチコンテストを開催。

「SDGsてらす」は、暮らしの不都合をSDGsで「照らす」、そして人々が集まる「テラス」の意味を込めています。ご関心のある方、ご連絡ください。一緒に活動しませんか。HP⇒ <https://www.sdgsterasu.com/>
参考* 持続可能な開発ソリューション・ネットワーク(SDSN)とベルステルマン財団の作成レポート



写真2 学習DVD/みんなのわくわくワーク

2022年度第3回ESD研修会 ESDの現状とこれからの課題

イベント案内

- ・日時: 2023年3月11日(土) 14:00~16:00
- ・場所: 宇部市立図書館2F講座室
☆特別講演(オンライン)
池田満之さん(岡山ユネスコ協会会長)
岡山におけるESDの現状とこれからの課題
☆講師を交えたディスカッション
赤田博夫さん(山口県人づくり財団)、三好保雄さん(恩田小学校)、薄井洋基さん(うべ環境コミュニティ)
- ・主催: ESDうべ推進協議会
- ・申込: 氏名、連絡先、対面またはオンラインの別を、環境学習館まで連絡
- ・メ切: 3月8日 ・参加費: 500円(オンライン無料、高校生以下無料)



<http://okaunesco.wixsite.com>

宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線:「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス:「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し(近隣の有料駐車場等をご利用ください)

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekuru@gmail.com

開館時間 9時~17時 HPアドレス <http://ubekuru.com/>

休館日 土・日・年末年始(12月29日~1月3日)



HomePage



facebook



twitter



NPO法人うべ環境コミュニティ

小野湖の日

宇部市北部地域振興課 武田尚文



小野地区では、宇部市の水源地である小野湖の環境保全と環境学習の推進を目的として、毎年3月20日（厚東川ダム竣工日）を「小野湖の日」とすることを平成30年に決めました。

小野湖の日のイベントは「小野湖を守る」「小野湖を知る」「小野湖に親しむ」を3本柱として、将来を担う子どもたちに焦点を当てながら、水源地を守る事の大切さやダム湖の歴史を教え、さまざまな体験も交えて、地区内外からの多数の来場者を招いて実施されています。

今までの具体的な企画内容としては、アクトビレッジおのを会場として、子どもたちによるシラスウナギの放流や河津桜の植栽、宝探しを兼ねた親子清掃活動、小野湖に関する〇×クイズ大会、水道水の利き水体験、小野湖を一望できる空中散歩、地元野菜やスイーツのバザーなど盛りだくさんの内容で開催してきました。

参加者、とくに子どもたちには、水を蓄えた美しくも大切な小野湖のイメージが鮮明に焼き付いたことだと思います。

コロナで縮小開催になった年もありましたが、今年は3月21日（火・祝）にアクトビレッジ・おので通常通り開催される予定です。



写真1 河津桜の植樹



写真2 シラスウナギの放流

以下は、小野小学校の子どもたちが考えた「小野湖の日」宣言の内容です。

毎年、小野湖の日イベントの開会式で児童によるイキイキとした宣言が行われます。

*** 小野湖の日宣言 ***

わたしたちのふるさと小野は緑豊かで、春は桜の花が咲き、夏には蛍が飛び、秋にはおしどりが増えて、冬には小野湖でワカサギを釣ることができます。この豊かな自然は地域の大切な財産です。また、小野湖の水は水道水として使われています。わたしたちは、これからもこの財産を守らなければいけないと思います。そこで、厚東川ダムができた3月20日を「小野湖の日」と決め、小野湖の環境を守っていきます。

うべ環境コミュニティー会員 コラム

SDGsとESD ESDうべ推進協議会 浮田正夫

SDGsは多くの人に知られていますが、ESDはほんの一部の人にしか知られていません。ESDは「持続可能な開発のための教育」と訳されます。どうもこのままでは世界は持続可能ではないのではと心配されるようになり、SDGsは2015年9月の国連サミットで150を超える加盟国首脳に参加のもと、全会一致で採択されたものです。

一方ESDは2002年の「持続可能な開発に関する世界首脳会議」で日本が提唱し、同年の国連総会で「国連ESDの10年」（-2014年）、さらに2013年のユネスコ総会で「ESDグローバルアクションプログラム」（2015-2019年）が採択され、ユネスコを主導機関として取り組まれてきました。そしてSDGsの目標4やターゲット47にも位置づけられるとともに、2019年11月のユネスコ総会で「ESD：SDGs実現に向けて（ESD for 2030）」が採択、同年12月の国連総会でも決議され、ESDはSDGsの実現に不可欠なものであるとの認識がなされています。

日本では文科省が主体になって、ESDの推進が図られ、総合学習の時間や各教科の学習指導要領の中にESD的な内容が組み込まれているようです。しかし、身近な学校教育の現状を垣間見るに、その効果が充分でない印象を受けます。たとえば宇部未来都市計画の管理目標の中で、将来の夢や目標を持っている子どもの割合が2019年度末、小学校6年生で67%、中学3年生

で47%と、とくに中学3年生で非常に低いことに驚きました。教員不足やコロナ禍の問題もあるでしょうが、学力偏重の教育方針が未だ主流を占めていることに大きな原因があるように思います。

2月18、19日に山口県セミナーパークで3年ぶりに開催された対面の第17回人づくり・地域づくりフォーラム in 山口に参加して、全国の事例発表からもESDの必要性を再認識できました。

国がもっと教育に投資することを期待するとともに、国・県からの上意下達に甘んじるだけではなく、地域の力を総合的に活用して、地域からESDの新たな動きが生まれることを切に祈りたいと思います。

第一面のイベント案内に示す3月11日のESD研修会ではこの辺りの議論を深める予定です。

次年度の研修会ではもっと多くの教育関係者に参加していただき、新しい動きにつなげていければと思います。

トップのリーダーシップに期待します。

